

一般会計 50億9,134万9千円



令和4年度予算の主な施策

**住民一人ひとりが誇りを持って
暮らせる美しい里の実現に向けて**

令和4年第1回美里町議会定例会が、3月1日から18日までの18日間の日程で開催されました。

この議会では、令和4年度の一般会計及び特別会計等（6会計）予算のほか、令和3年度の補正予算、条例の一部改正等を可決しました。

また、議員7名による一般質問が行われました。

令和4年度は、第5次美里町総合振興計画後期基本計画に位置づけた、「健康」「美力」「安全・安心」の3つの重点プロジェクトについて、横断的かつ総合的に推進し、「住民一人ひとりが誇りを持って暮らせる美しい里」という将来像の実現に向けた、各種事業の予算が計上されました。

主な事業については、教育・文化関係では、教育現場における統合型校務支援システムを含めた学校ICT全般の活用に係る教職員の支援や研修会の開催等をサポートするため、ICTの利活用に深い知見を持つ支援員の配置、また、地域活性化起業人制度を活用した、町民の健康意識の向上や生活習慣病・介護予防、地域交流につながる魅力ある運動プログラムの実施と共に、遺跡の森総合公園内にある施設の利活用を検討。

保健・福祉・医療関係では、ミムリン健康ポイント事業を主軸としたヘルスケア事業、新型コロナウイルスワクチン接種の推進、子育て支援では、子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、実情の把握から子ども等に関する様々な相談対応を行う「子ども家庭総合支援拠点」の設置。

まちづくり関係では、農村公園の再整備や沿上地内の水殿瓦窯跡周辺の公園整備、また、役場と松久駅、寄居スマートインターチェンジに囲まれた「まちづくり拠点地区」に、住宅地や商業施設などの機能を集約した整備に向けた土地利用計画の策定のほか、災害時の対策等のさらなる強化を図るため美里町地域防災計画の改定、ゼロカーボンシティ及び脱炭素先行地域の実現に向けたロードマップやプロジェクトを構築するための美里町脱炭素ビジョン策定等の予算が計上されました。

令和4年度



歳入

町税17億4694万円、地方消費税交付金2億3368万円、地方交付税9億5549万円、国庫支出金6億6321万円、県支出金3億8529万円、繰入金3億2255万円、町債2億8776万円などが主な財源です。

歳入の前年度対比の主な状況は、町税が1億3330万円（個人・法人町民税が2292万円、固定資産税が1億1075万円の増）、国庫支出金が1億3632万円、地方交付税が9827万円、繰入金が6145万円の増となっています。一方で、町債が6356万円、地方消費税交付金が920万円の減となっています。

歳出

総務費7億9629万円、民生費15億8314万円、衛生費4億6632万円、農林水産業費3億9069万円、土木費5億1682万円、教育費4億8558万円、消防

費2億757万円、公債費4億4682万円が主なものです。

歳出の前年度対比の主な状況は、総務費が会計年度任用職員報酬や外部人材活用業務委託料等の増により6544万円、民生費が保育所等整備事業費補助金や障害者福祉事業の負担金等の増により7833万円、衛生費は、保健センター維持補修工事や新型コロナウイルススワクチン接種事業等の増により6266万円、土木費が農村公園再整備工

事です。一方、教育費が体育広場防球ネット修繕や天神山ターゲットボードゴルフ場駐車場新設工事の完了等により457万円、災害復旧費が林道南谷線復旧工事の完了により263万円の減となっています。

や河川の浚せつ工事等の増により1億5074万円の増、また、商工費が工場立地促進奨励金や新型コロナウイルス対策の支援金等が増加したことから5876万円の増となっています。

令和4年度 会計別当初予算額（ ）内は対前年度比

一般会計	50億9,134万9千円 (108.7%)
特別会計	31億4,575万6千円 (101.6%)
国民健康保険	13億7,763万7千円 (99.1%)
下水道事業	1億9,428万3千円 (96.5%)
農業集落排水処理事業	2億9,801万6千円 (105.5%)
介護保険	11億3,244千円 (103.2%)
後期高齢者医療	1億4,338千円 (114.2%)
水道事業会計	5億5,873万8千円 (107.2%)
総合計	87億9,584万3千円 (105.9%)

